

担はれるの已むなき実情となつた。

此の「決号作戦準備要綱」は作戦兵力運用、国内抗戦、国内警備、交通、通信、兵站等の諸計畫から成り、更に「本土作戦に関する陸海軍中央協定」も附せられて居た。その要旨は次の通りである。

作戦要綱

一 作戦の名稱及び区分

本土方面の作戦を決号作戦と呼稱す。

決一号 北海道、樺太及千島列島方面

決二号 東北地方

決三号 関東地方

決四号 東海地方

0175

決五号

近畿四国地方

決六号

九州地方

決七号

朝鮮方面

三 作戦準備の進捗予定

作戦準備を次の三期に区分す

才一期

四月乃至七月の間

才二期

八月乃至九月の間

才三期

十月以降

九州に於ける応急作戦準備は才一期に完整するものとす。

才一期に於て兵備を完成し、才二期に於て配備及作戦準備を完整し、

才三期以降に於て益々之を增強す。

三 作 戦

(1) 帝國陸海軍は速かに戦備を強化して敵必滅の戦略態勢を確立し、主敵米軍の侵寇を本土要域に於て邀撃す。

之が為主戦面は太平洋及支那海正面とし、戦備の重点を關東地方及九州地方に保持す。

(2) 敵の空襲を撃破して敵機の跳梁を制するに努め、帝都及本土の重要部特に生産、交通の作戦準備を掩護す。

(3) 敵の本土要部攻略企図に対しては努めて之を洋上に撃破すると共に、上陸する敵に対し果敢なる陸上攻勢をとり神速に決勝を求む。

航空作戦指導の重点を敵の上陸企図破挫に指向し、其の主攻撃目標は敵輸送船団とす。

之が為航空艦隊（敵基地航空及上陸部隊を伴はざる敵機動艦

二四

隊に対する攻堅）防空作戦及地上作戦協力等は前項趣旨達成を主眼とし適宜其の限度を律し、以て対上陸作戦に於ける戦力の維持、培養に遺憾をかしむるものとす。

2. 陸上作戦は上陸せる敵を求めて沿岸要域に壓倒殲滅して戦局に最終の決を求むるを主眼とす。

陸上部隊は従ひ航空部隊等の協力を欠くも独力作戦を遂行し其の目的の達成を期するものとす。

(4) 海軍の行は海上交通保護、水上水中特攻作戦及海峡防衛に努力す
(5) 国土の特性を活用し特に拳闘皆兵たる傳統の精髓を發揮して作戦目的の完遂を期す。又敵一部の内陸侵襲其他情勢の推移に対応

0178

し、国土全域に亘り国内抗戦を準備すると共に国内警備の万全を期す。

四、航空作戦

1. 通信諜報等と相連繫し太平洋上に於ける敵空海基地に対する戦略搜索に努め、全般情勢判断の憑拠を求む。

2. 敵就中輸送船団の動靜に対する監察を嚴にし適時其企図偵知に努むると共に、本土要域特に関東地方及九州地方に対する敵の侵襲に方り極力之を洋上に撃滅す。

此間要時一部を以て右上陸行動を掩護する主要敵航空基地を制壓す。

3. 敵の上陸直後に於ては努めて橋頭陣地の設定確保に協力する敵護

二六
衛艦艇を制壓し、地上軍の作戦を容易ならしむ。又極力敵の補給遮断を継続す。

々地上作戦協力は緊要の時機、所要の方面に対する指揮連絡を主旨とするも、當時に於ける我戦力之を許せば局部的制空権の獲得に努め、地上作戦の遂行を容易ならしむることに努む

五、地上作戦

1. 地上軍は速に敵主力の進攻方面を判定し、機に先んじ成るべく多くの兵力を該方面に機動集中し、敵の縦方向又は横方向に於ける戦力分離に乘じ神速に決戦を求む。

2. 敵の進攻同時数方面に亘るときは敵主力に対し主作戦を指導す。敵主力の存在不明なるときは我主戦力の指向容易なる方面に対し

0180

決戦を求む。

支作戦方面に在りては一部を以て所要の期間持久を策し、主力の作戦を容易ならしむ。

3. 敵の進攻逐次數方面に亘るときも亦前項に準ず。但し敵主力に先だち一部の進攻を見る場合に於ては全般の情勢之を許せば所要の兵力を指向して之を各個に撃破す。

4. 地上作戦軍は敵の確乎たる上陸態勢を占むるに先だち、努めて沿岸要域に於て敵を撃破する如く作戦を指導す。

5. 地上兵力は豫め計畫する所に準備し、他方面より作戦の焦点に之を集中するの外、敵の上陸方面に非ざる方面より更に兵力を抽出転用して作戦予備と爲し、所要に應じ之を主決戦正面に増加し或

は戦局の変転に対処す。

二八

敵の進攻を受けざる方面の軍は能く全局の作戦を容易ならしむる如く諸般の措置を講ず。

当該方面最高指揮官に豫め計畫の或は臨機指示せらるるもの、外所要の兵力軍需品等を隨時迅速に他方面に転用し得る如く計畫準備すると共に転用後に於ける担任地域の作戦準備及指導に遺憾なきを期するものとす。

7 本土沿岸の島嶼は之を堅固に専守して敵の空海基地の獲得設定及活用を妨害すると共に、所要に応じ協力する航空及水上水中特攻と相俟ち成るべく多くの敵戦力を消耗するに努む。

陸上交通不便なる本土僻の地点の防衛に關しても前項に準ず。此

0182

際特に敵の本土上陸全般の企図判断と關聯し、敵の利用する虞ある飛行場適地又は泊地の状況を詳かにすると共に、之に対する敵企図に対処するの準備を周密ならしむるものとす。

8. 上陸企図に伴ふ敵の空艇作戰に対しては主として地上部隊を以て速に之を撃破す。前項の外、重要航空基地、作戰路及交通要點の対空挺防備を嚴ならしめ、又内陸後方に対する擾亂空艇企図に対する準備に遺憾なからしむ。

兵力運用計畫（集中計畫） 兵力運用に關しては關東若くは九州地方を主とし、決号作戰が起きた場合、或は米軍の進攻が予察出来た場合に於ける決戦方面に地上戦力を集中する計畫を示した。此の計畫に依れば九州方面の決戦に速應して此の方面に集中せらるゝ兵力は東

二九

0183